



上/オープニングを飾ったふだい荒磯太鼓の演奏
中/かわいらしいいちびっこあまちゃん隊によるもちまき
下/イメージ一新！完成した駅舎の外観

JR八戸線久慈駅がリニューアル

コハクの駅で観光をPR

コハクステーション

JR八戸線の久慈駅（坂本勝義駅長）がリニューアルしました。新しい駅舎のデザインコンセプトは「久慈コハクステーション」。外装は琥珀色と黒色に変更され、温かみのある外観になりました。駅名標は琥珀で飾られ、そばにはウニをかたどったパネルが設置されました。

観光で復興に貢献

6月17日に行われた完成式典では、市民や観光客など約500人が駅前集まり、完成を祝いました。

勇壮な太鼓の演奏が始まった式典は、あいさつ、関係者がテープカットに続いて、門前保育園の園児と来賓が駅名標の除幕を行いました。その後、ちびっこあまちゃん隊のメンバー15人が登場。紅白のもちや、記念のタオルなどをまいて会場を盛り上げました。坂本駅長は「全国から注目され、海・山とも観光資源に恵まれている久慈地域の玄関口として、皆さんと共に、もてなしに磨きをかけ、観光を通じて復興へ貢献していきます」と思いを語りました。



テーブルも設置され、過ごしやすくなった待合室
待合室の展示棚。久慈の特産品などが並びます
トイレは全面リニューアル。多目的トイレも整備
改札口とホームをつなぐ緩やかなスロープ

環境省グリーン復興プロジェクト

三陸復興 国立公園 再編成で復興へ

新たな国立公園の指定

昭和30年に指定された陸中海岸国立公園に、青森県の種差海岸階上岳県立自然公園が編入され、5月24日、三陸復興国立公園として新たに指定されました。

今後は宮城県の南三陸金華

復興、自然とともに

山国定公園やその周辺の県立自然公園などの編入も検討されています。

公園の名称は、復興の状況を見ながら、将来的にふさわしいものが検討されます。

今回の指定は、東日本大震災からの復興に貢献するため、環境省が策定した「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興」のプロジェクト（グリーン復興プロジェクト）の中心的取り組みとして進められてきました。

同プロジェクトでは、自然環境と地域の暮らしを後世に伝え、自然の恵みと驚異を学びつつ、それらを活用しながら復興を進めることを目指しています。具体的には、「三

700キつなぐ歩道

陸復興国立公園の指定」を中心とした、7つのプロジェクトを掲げています。

同プロジェクトの一つが、長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」です。待浜町周辺の自然歩道など、既存の道をつなぎ合わせ、ひとつながりの道を整備する取り組みで、青森県八戸市から福島県相馬市まで、太平洋沿岸約700キをつなぐ計画です。歩くスピードでこそ味わえる風景や地域の文化・歴史を知り、体験する機会を提供することが目的です。

久慈の潮風トレイル

久慈市では、他のエリアに先駆けて、今年の2月と3月に地域で意見交換会を開催し、各地区の住民や観光に関わる多くの人から意見を頂きました。今年の秋ごろに八戸市から久慈市までの一部区間を開通させることを目指し作業が進められています。

ハイカーにとって魅力的で、地域からも大切にされる自然歩道が作れるよう、引き続き皆さんの意見をいただきながら、自然歩道が通過する自治体と環境省が協働し、取り組みを進めます。

自然公園の再編成イメージ



グリーン復興プロジェクトが目指すもの

